

ツーリズムEXPOジャパン2014 部会長が語る世界最大級イベントの魅力

いよいよ1カ月後に開幕が迫った、ツーリズムEXPOジャパン2014。海外・国内・訪日という3つの旅行分野が一体となって、世界最大級の規模で開催される第1回のイベントに、内外から期待が高まってきています。イベントの成功に向けて周到な準備を進めてきた4部会の部会長の皆さんに、その魅力を語っていただきました。

「旅の力」と「地域」をテーマに議論

◎会議・式典部会 池畑孝治部会長

(KNT-CTホールディングス執行役員 海外旅行部長)

国連世界観光機関(UNWTO)のタレブリファイ事務局長による基調講演が「旅の力で地域を元気にする」というテーマであることに象徴されるように、今回のツーリズムEXPOジャパンでは、「旅の力」と「地域」を大きなテーマに掲げて、海外旅行国内旅行訪日旅行の各分野で議論が進められていくこととなります。

観光庁がツーウェイツーリズムを推進する方針を打ち出しており、国の観光政策としても双方方向交流の重要性が認識されているわけですが、旅行業界としても、現状で生業の中心となっている海外旅行と国内旅行に加えて、ノビシロの大きい分野だから訪日旅行に取り組みむというだけでなく、旅行需要全体の底上げを図るためにどうしたらいいのかという観点で訪日旅行を考えていかなければなり

ません。

国内各地で訪日旅行者を誘致するための取り組みが進められていますが、自分の地域に来てもらうためには、海外旅行も拡大していき、それぞれの地域の魅力を海外で発信するようなことも進めていく必要があります。日本政府観光局(JNTO)や日本観光振興協会と協力してツーリズムEXPOジャパンが開催されるわけですから、旅行業界だけでなく自治体や地域の観光関係団体なども含めた幅広い皆さんと一緒に日本を観光で元気にするというテーマを掘り下げる形でのシンポジウムの準備が整ったと自負



しています。

PATAの協力によるパネルディスカッションでは、「成長するASEAN市場」をテーマに、アウトバウンドにおけるDestinyネーションとしてだけでなく、インバウンドにおける送り手としてもASEANに注目して、地域を元気に

国の観光戦略を最もアピールできる場に

◎営業・展示部会 高橋敦司部会長

(東日本旅客鉄道 鉄道事業本部 営業部次長)

昨年まで別々のイベントだった「JATA旅博」と「旅フェア」が一緒になると同時に、「Visit Japanトラベルマート」もインバウンドのイベントとして加わり、旅行者にとってもより有用なイベントになったのではないかと思います。国内だけ旅行している人はあまりいないでしょうし、海外旅行にしか行かないという人はもつと少ないはずで、そういう意味では、本格的な旅の総合イベントが実現したことになります。

また、出展者にとっても、国内各地から参加される皆さんには、海外のサプライヤーによるさまざまな趣向を凝らしたブースやイベントなどをご覧いただいて、今後、国外の旅行見本市などに出席する際の参考にしていただけるのではないかと思っています。また、ツーリズムEXPOジャパンに出展する海外のサプライヤーにとっても、日本の国内各地の様々な観光素材や観光資源につい

する双方向交流というものを世界各国から参加する旅行業界関係者の方に考えていただきたいと思っています。

JATA会員企業の皆さんには、自治体や観光業界にかかわる地域の皆さんにもお声掛けをして、ぜひ、積極的に参加していただけるようお願いいたします。

て理解を深めてもらうことができるかと考えています。

これまでのVisit Japanトラベルマート



では、ブース出展だけにとどまる形となっていたわけですが、今回は、商談が終わった後やトラベルマート終了後に、展示ブースに来ていただいたり、ブースでのイベントを楽しんでいたたりすることもできますから、セラーの提案内容を具体的に見てもらったり、体験してもらったりすることが可能になるわけです。そういう意味で、特に、インバウンドの商談の広がりというものが、国内の展示が伴うことで、今までとは全く違うものになるだろうと考えています。

また、国内旅行の先にあるインバウン

